

【1年進路指導年間スケジュール】

学期	月	学校行事	進路行事	
			行事	目的
前期	4月	始業式 入学式 1年宿泊研修	スタディーサポート 新入生オリエンテーション 個人面談	新入生の資質をはかる。 各教科における学習方法の確立をはかる。 高校生活に向けての面談。
	5月	生徒総会 1回考査	家庭学習実態調査	高校生としての家庭学習の確認とその確立。 高校スタート時点の学習到達度の測定。
	6月	東雲祭（体育祭）	個人面談 第1回校内実力考査 ハイレベル模試 （駿台・希望者）	学習面、生活面を中心に、科目選択や文理選択について。 難関大志望者の中で自分の位置を知る。
	7月	2回考査 三者面談 オープンスクール1	進研模試 三者面談	最初の全国模試を受験し、全国での自分の位置を知る。 学校生活、家庭生活の情報交換と文理選択について。
	8月		夏季学習セミナー 夏季補習	基礎/発展学習を行う。自主的・計画的学習能力の育成をはかる。
中期	9月	終業式 オープンスクール2 東雲祭（文化祭） 前期末考査	個人面談 家庭学習実態調査 （志望校調査）	文理選択（コースや科目選択）について。 家庭学習の再確認とその確立。
	10月	始業式 創立記念日 3回考査 芸術鑑賞	第2回校内実力考査 二者面談 ハイレベル模試 （駿台・希望者） 進研模試	この時期までの学習成果の確認。 文理選択について。 難関大学志望者の中での自分の位置を知る。 7月進研模試での課題の解決成果の確認と新たな目標発見。
	11月	文理選択（1年）		
	12月	4回考査	冬季補習	総復習と発展的内容に取り組む。
	1月	センター試験 スキー教室（1年）	家庭学習実態調査 第3回校内実力考査 （志望校調査） 進研模試	1年生としての家庭学習が確立できたかの確認と修正・改善。 1年間の学習成果の検証。 全国レベルで1年生としての「思考力・表現力」を計る。
後期	2月	国公立前期試験 年度末考査	ハイレベル模試 （学研・希望者） 個人面談	難関大学志望者の中での自分の位置を知る。 1年間の反省と次年度に向けての目標・課題の確認。
	3月	卒業式 国公立中期後期試験 終業式	スタディーサポート 春季補習	高校1年間の検証と2年生に向けての自己分析。 1年生の総復習と発展的内容に取り組む。また、早期における5教科体制の意識付け。

進路学習のポイント	学習のポイント
<p>自己分析をし、将来像を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スタディーサポートの結果や担任との面談を通し、自己を分析し、将来像を考える。 ○高校3年間を通しての目標を立てる。 	<p>高校生の学習に慣れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学校と高校の違いを確認して高校生に求められる学習習慣について早期に確立する。
<p>正しい職業観を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合学習の時間などを活用し、身近な人の職業を調べたり、世の中の様々な職業について調べる。 ○職業に対する知識を深める。 	<p>最初の定期考査・校内実力考査に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学校とは違い、試験の質・量ともレベルアップ。計画を立て、定期考査と実力考査に全力投球する。 ○返却された答案を基に、しっかりとした試験の復習を行う。
<p>職業と学問の関係を研究する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な職業の中から、自分にとっての職業を考えてみる。大きい枠組は、「教育・福祉」「医療・保健」「公務・保安」「国際」「事務・サービス」「法務・経営」「マスコミ・芸能」「芸術・デザイン」「研究・技術」。 ○志望の職業に就くために関連する学部・学科や必要な資格について調べる。 ○オープンキャンパスに積極的に参加し、大学や研究を体感する。 	<p>学習習慣の確立を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期考査、実力考査等を振り返り、自分に合った学習計画を立て実行する。 ○定期考査などそれぞれの試験について計画と目標を立て学習に取り組む。試験後は復習を行う。 ○夏休み前に、だらけたムードを払拭し、夏季課題や前期の復習にポイントを置いた学習計画を立てる。
<p>文理選択をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○志望の職業、学びたい学問などから文理選択を考え、保護者・担任とよく相談のうえ決定する。科目の得意・不得意だけで安易に選択しないようにする。 ○大学等の研究を行い、志望校について考える。また、同時に入試制度や入試科目の研究を行う。 ○コース、教科、科目選択を行う際は、志望校の入試科目に注意をする。 ○職業、学問、学部については、引き続き深い研究を行う。 	<p>不得意科目の克服をはかる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○後期あたりから、得意科目、不得意科目の差が大きくなる生徒が目立つ。全く解らなくなっているからでは、克服するために膨大な時間が必要となる。計画を立て、苦手科目の克服に力を入れる。 ○進研模試やハイレベル模試の結果から、全国での自分の位置や目標との距離を確認する。 ○定期考査や実力考査、校外模試は学習の到達度を計るのに最適な試験です。それぞれの試験に目標を立て、計画的な取り組みを行う。
<p>志望校を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の将来像を実現するために、大学学部等の研究をしっかりと行い、志望校を固めていく。 ○入試制度や入試科目についても、より深く研究を行う。 	<p>学習スタイルの再構築と1年次の総まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまで取り組んできた学習スタイルを振り返り、良い点、悪い点を考える。その上で学習スタイルを再構築してみる。（例）放課後は、自習室を活用する。土曜開放へ積極的に参加する。など。 ○最後の定期考査や実力考査、校外模試に全力を尽くし、1年次の学習がどれくらい身につけているかを確認する。 ○春休みは、1年間の総復習を計画的に行い、苦手科目の克服、得意科目の伸張に努める。また、5教科体制へシフトしていく。
<p>1年次の反省と2年次の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年間を振り返り、今一度、将来像や志望校について検討してみる。 ○2年次で取り組む課題を明確にする。 	

